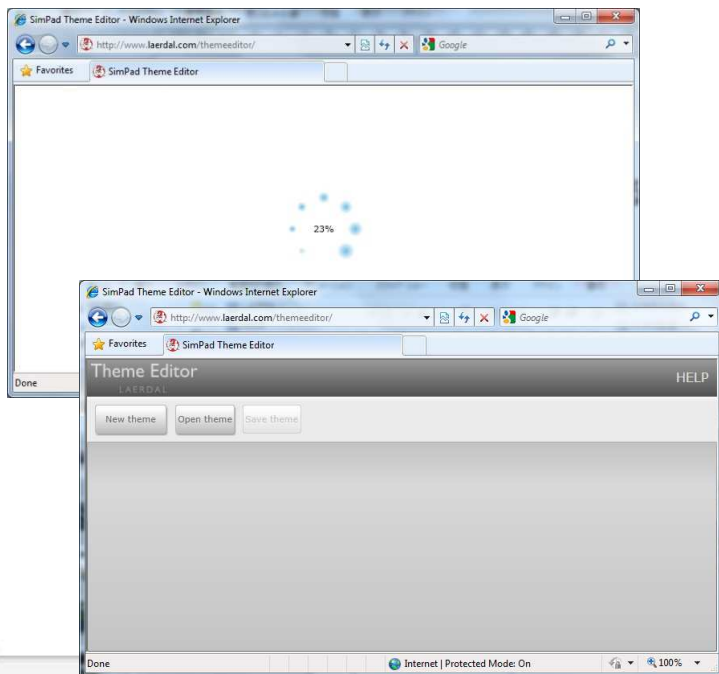
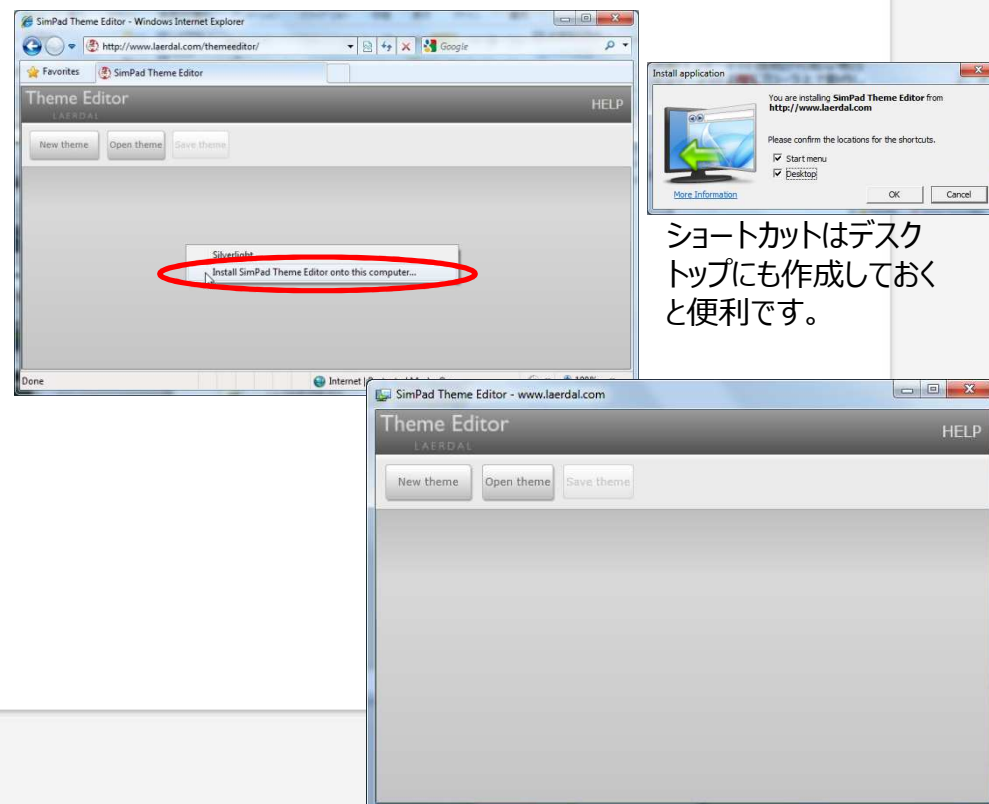


SimPadのマニュアルモードで使われるテーマは、無償配布の「テーマエディター」で自由に作成・編集ができます。テーマエディターは英語版となっていますが、日本語での入力が可能です（但しファイル名は半角英数で保存となります）。

1. 常時インターネット接続が可能な場合
インターネットエクスプローラ上で動作します。
<http://www.laerdal.com/themeeditor/>
にアクセスすると、自動的にプログラムが読み込まれ、その後エディターが起動します。
※この方法ですと、常に最新のバージョンをご利用いただくことが可能です。

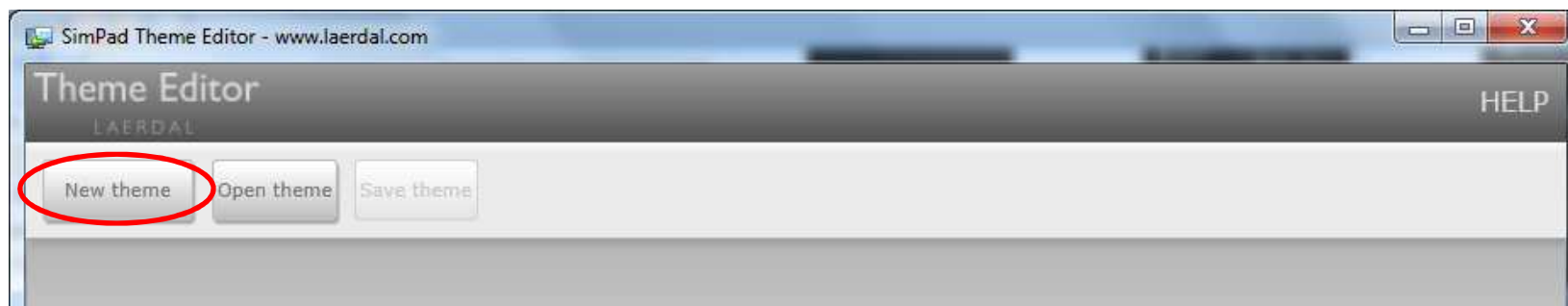


2. オフラインで使用する場合
左記1.の方法でテーマエディターを起動した後、画面上を右クリックし、出て来た選択枝から「**Install SimPad Theme Editor onto this computer**」をクリックすると、エディターがPCにインストールされます。
※これでネット接続していなくても使えるようになります。

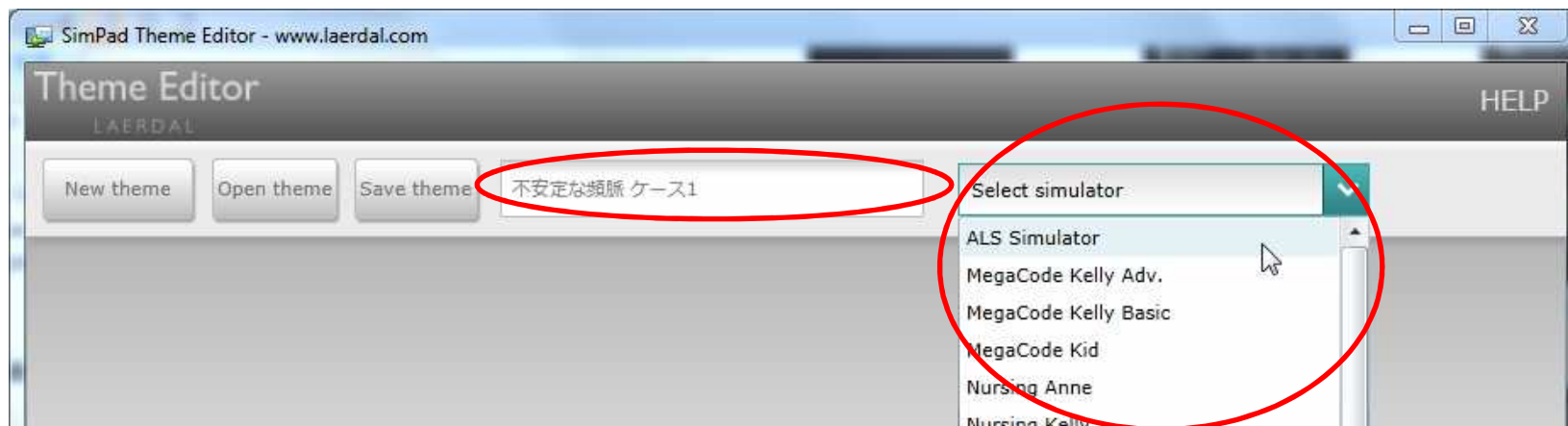


ショートカットはデスクトップにも作成しておく
と便利です。

1. 「New theme」をクリックします。



2. 右側に入力画面と選択メニューが出てきます。
SimPad画面で表示されるテーマ名(日本語可)を入力し、
組み合わせて使用するシミュレータ名を選択します。



STATES(患者状態)

- ダブルクリックすると状態名を入力できます。
- 「click to add state」をクリックすると、新しい患者状態を増やしていけます。
- マウスポインタをあてると右側に「+」が出てきます。これをクリックするとコピーが作成されます。
- 同様に、「×」をクリックすると削除できます。
- それぞれの患者状態をドラッグしてお好みの順に入れ替えることができます。



各バイタルサイン

- それぞれクリックすると設定画面が開きます。設定後、OKで確定します。
- 各バイタルの数値はマウスでバーを上下させて設定します。
※「血圧をあと1mmHg下げたい」など、値の微調整が必要なときは、上下カーソルキーを使うのが便利です。

- Transition time
「移行時間」と言い、この患者状態に達するまでの時間を設定します。

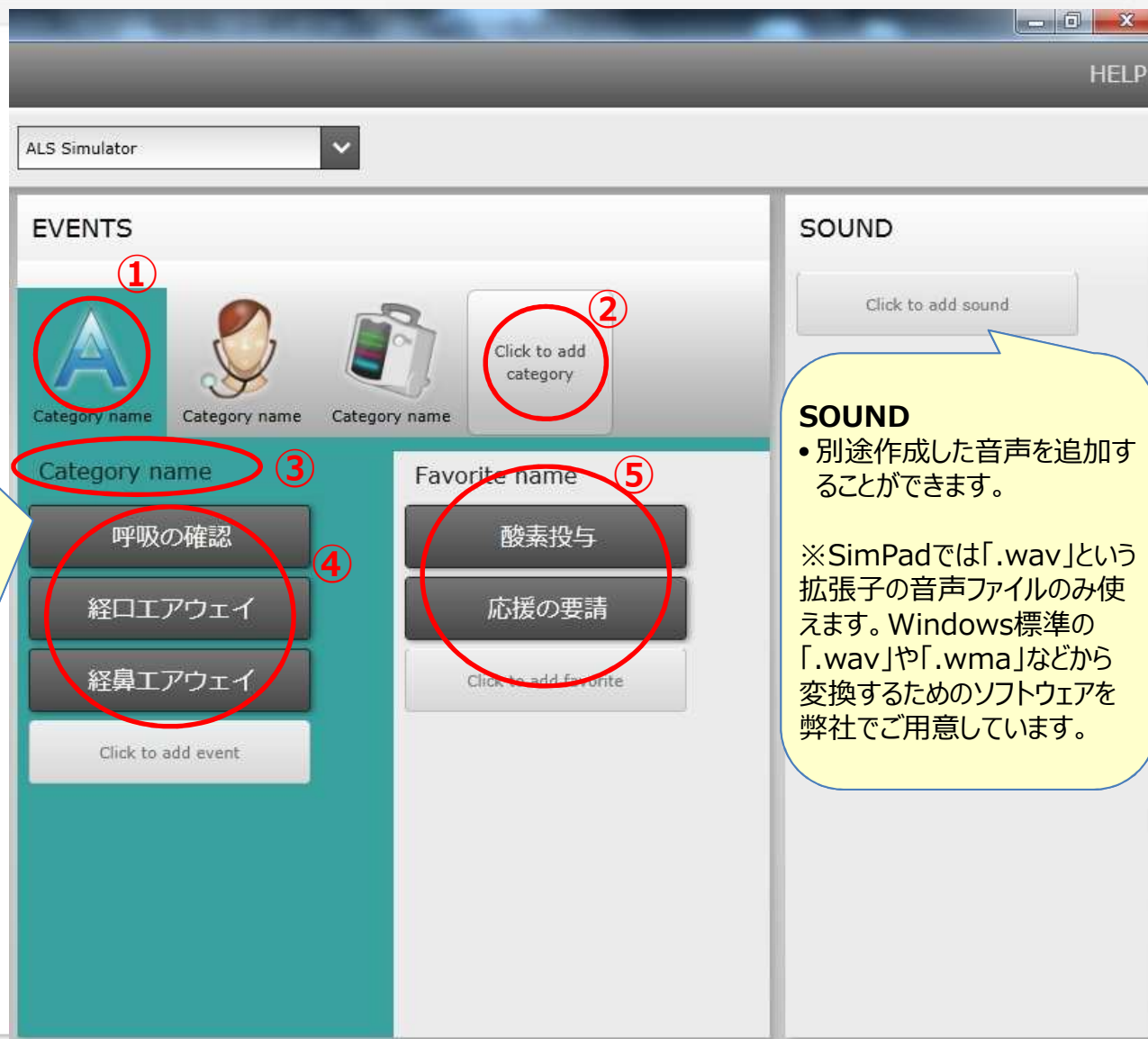
- 呼吸音/心音、自発呼吸オン/オフ、気道閉塞などは下にある3つのアイコンをクリックするとそれぞれ設定画面が表示されます。

- 呼吸音/心音、自発呼吸オン/オフ、気道閉塞などは、ここにある3つのアイコンをクリックするとそれぞれ設定画面が表示されます。

EVENTS(実施項目)

これらを使うと、後からログの確認に活用できます。

- ① をダブルクリックすると、各カテゴリの識別用にアイコンを選べます。
- ② をクリックすると、カテゴリの名前を入力できます。
- ③ をクリックすると、カテゴリを追加できます。
- ④ をそれぞれダブルクリックすると、実施項目の名前を入力できます。コピー・削除・移動は患者状態と同じ方法です。
- ⑤ の部分には、良く使う実施項目を入れておくと便利です。



SOUND

- 別途作成した音声を追加することができます。

※SimPadでは「.wav」という拡張子の音声ファイルのみ使えます。Windows標準の「.wav」や「.wma」などから変換するためのソフトウェアを弊社でご用意しています。

テーマの保存・SimPadへのコピー

1. 作成が終わったら、左上の「Save theme」をクリックすると保存できます。
半角英数でファイル名を入力し、PCの任意の場所に保存してください。
2. SimPadの電源を入れた状態で、付属のUSBケーブルを使ってPCと接続します。
SimPadは通常の外部メモリ(USBメモリやSDカードのように)として認識され、Windowsのエクスプローラで開く事ができます。
3. 作成したテーマを、SimPadの「Themes」というフォルダの中にコピーします。
4. USBケーブルを抜くと、SimPadが再起動します。マニュアルモードを起動し、コピーしたテーマが正しく表示されているかご確認ください。

一度作成したテーマを再び編集する場合は、「Open theme」をクリックし、保存済のテーマを選択してください。